

前回からの変更の考え方(「」は変更前の項目名、『』は変更後の項目名)

1. 前回部会での審議を踏まえ、自然資本の保全・管理等に関する項目「自然と共に生する都市づくりの推進」を、『分野の柱2. 環境負荷の少ない都市構造の形成』に追加
2. 「1-①自立・分散型エネルギーネットワークの展開」は、全市的にエネルギー効率を高めるためには、最も重点的に取り組むべき都心部に加え、複数の拠点においても推進する必要があることから、『分野の柱1. 環境首都・札幌の実現に向けた次世代エネルギーシステムの推進』にかかる項目として統合
3. 「1-②環境にやさしい移動手段の構築」は、都心部に加えて全市的な公共交通のあり方などを含めた取組みが必要であることから、『分野の柱2. 環境負荷の少ない都市構造の形成』にかかる項目として統合
4. 「2-①住宅や施設の省エネルギー化の促進」や「2-④次世代型自動車の普及促進」は、全体的なエネルギー管理の一要素を個別のテーマとしていたが、エネルギー効率を高めるためには総合的な取組みを推進する必要があることから、『1-②次世代エネルギーシステムの開発・利用の促進』として項目を一本化
5. 「2-③市民・企業の省エネルギー意識の向上」、「2-⑤札幌型のエネルギーベストミックスの構築」、「3-③市民・企業の環境負荷を低減する行動の促進」は、市民・企業による環境負荷低減の取組みを①意識向上、②行動促進、③最終目標であるベストミックスの構築と、各段階の取組みを並列して掲載していたものであったが、市民・企業における取組みを一連の流れとして整理すべきとの考えから、これらを統合し、『1-③市民・企業による環境負荷低減の取組みの推進』として整理
6. 「2-⑥エネルギー連系システムの構築」は、将来的な方向性を示す長期的な目標に関する項目であることから、『分野の柱1. 環境首都・札幌の実現に向けた次世代エネルギーシステムの推進』の「重点戦略の狙い」の要素に移行

変更前

- ◎前回部会での審議を踏まえた新規追加分
・自然と共生する都市づくりの推進 → 新2-③として追加
1. 都心部のエネルギー管理の推進 → 統合による項目削除
①自立・分散型エネルギーネットワークの展開 → 新1-①へ移動
②環境にやさしい移動手段の構築 → 旧3-①と統合し新2-②へ
 2. 次世代エネルギーシステムの展開
①住宅や施設の省エネルギー化の促進 → 旧2-②と統合し新1-②へ
②先進的なエネルギーシステムの開発・利用の促進
③市民・企業の省エネルギー意識の向上
④次世代型自動車の普及促進
⑤札幌型のエネルギーベストミックスの構築 → 旧2-③と統合し新1-③へ
⑥エネルギー連系システムの構築 → 新1の「狙い」として記載
 3. 環境負荷の少ない都市空間の創出
①生活圏におけるエコモビリティの強化
②循環型社会の構築
③市民・企業の環境負荷を低減する行動の促進 → 旧2-③と統合し新1の③へ
④エネルギー効率の良いコンパクトなまちづくり

変更後

1. 環境首都・札幌の実現に向けた次世代エネルギーシステムの推進
【重点戦略の狙い】
脱原発依存を実現するエネルギー消費の少ない社会を構築するために、次世代エネルギーシステムなどの研究・開発・普及により、家庭や業務部門などの省エネ・創エネを推進すると共に、自立分散型のエネルギー供給体制を強化することにより、エネルギー効率が良く、災害に強いエネルギーシステムを構築する。さらに、系統ネットワークと分散型電源の安定した共存・連系に向けた検討を進める。
①自立分散型エネルギーネットワークの展開
②次世代エネルギーシステムの開発・利用の促進
③市民・企業による環境負荷低減の取組みの推進
2. 環境負荷の少ない都市構造の形成
【重点戦略の狙い】
人や自家用車などの移動によるエネルギー消費を抑えたコンパクトな市街地の形成や、みどり豊かな空間の創出などにより環境負荷の少ない都市構造を形成する。
①エネルギー効率の良いコンパクトなまちづくり
②環境にやさしいエコモビリティの強化
③自然と共生する都市づくりの推進
④循環型社会の構築